

CRC Essential Lectures 講義概要

第1回 (10月19日)

担当講師

竹内規彦 早稲田大学商学学院 教授

テーマ

人材の高齢化を組織行動論の視点から考える

講義概要

本講義では、職場や組織における高齢化の諸課題について、組織行動論（組織の中の人間行動に関する学問領域）の知見をもとに検討する。具体的には、働く人々の加齢に伴う種々のこころの変化を正確に理解するとともに、多様な年齢層からなるチームや組織におけるダイバーシティ・マネジメントのあり方を探る。また、個人の視点として、各受講生が人生100年時代における後期キャリアを前向きに捉えていく指針や心構えについて考えるきっかけとなれば幸いである。

第2回 (10月23日)

担当講師

島岡未来子 早稲田大学 研究戦略センター 教授/アントレプレナーシップセンター副所長
/WASEDA-EDGE 人材育成プログラム事務局長

テーマ

イノベーションの理論と実践：アントレプレナーシップを身につける

講義概要

本講義では、イノベーションの理論の中でも、特にイノベーションを推進する人材（アントレプレナー）が有する精神（アントレプレナーシップ）に焦点をあてます。アントレプレナーシップとは、「起業意思の有無に関わらず、困難や変化に対し、与えられた環境のみならず自ら枠を超えて行動を起こし新たな価値を生み出していく精神」と定義されます。すなわち、不確実で変化の激しい現代を生き抜くために、起業家のみならずどのようなキャリアを選ぶ方にも有用な精神と言えましょう。

1947年にハーバード・ビジネス・スクールで最初のアントレプレナーシップ・コースが開講されて以来、高等教育におけるアントレプレナーシップ教育プログラムは急速かつグローバルに拡大してきました。本講義では、教育現場でも導入されているアントレプレナーシップの最新理論を紹介し、さらに、それを身に着けるためのミニワークを行います。

第3回（11月27日）

担当講師

村瀬俊朗 早稲田大学商学大学院 准教授

テーマ

組織のダイバーシティと競争力

講義概要

本講義では、組織のダイバーシティがどのように企業の競争の源泉となるか、そしてダイバーシティの様々な課題について、企業におけるダイバーシティ推進の事例を介しながら紐解いていきます。ダイバーシティを社内に取り入れるには、多様な人の採用だけではなく、多様な人が活躍できる組織環境を整える必要があります。また、表面上の多様性によって引き起こされる無意識的な差別の問題や、多様な価値観や行動がから生まれる組織の問題にも熟知する必要があります。これらの課題を解消することで初めて多様性が競争力となりますので、本講義を通して、多様性を考え、個人の態度と行動を変えるきっかけを作る講義内容で構成される予定です。

第4回（11月30日）

担当講師

関口和一 （株）MM総研 代表取締役所長

テーマ

A I時代に求められるデジタルリテラシー

講義概要

「ChatGPT」に象徴されるA I（人工知能）や5 G、IoTなど最新のデジタル技術は、テレワークやオンライン会議、リモート学習など人々の働き方や暮らし方を変えるだけでなく、製造業や小売業、金融、医療、教育など様々な分野でビジネスモデルの変革を促しています。こうした動きは「デジタルトランスフォーメーション（DX）」と呼ばれ、政府や企業にも新たな意識変革や制度改革を迫っています。本講座では、世界のデジタル事情を最先端で取材している国際ジャーナリストであり、IT専門のシンクタンクのトップでもある講師が、国内外の最新事例を紹介しつつ、デジタル社会への備えや、日本のビジネスマン・ミドルエイジに求められるデジタルリテラシーなどについて解説いたします。技術や経済のことはよくわからないという方にも懇切丁寧に解説いたします。

第5回（1月8日）

担当講師

西城戸誠 早稲田大学文学学術院 教授

テーマ

ふたたび地域社会・コミュニティにかかわるために

講義概要

地域社会やコミュニティという言葉は日常的に使われていますし、私たちは居住している空間も含めて「地域社会」「コミュニティ」に属しているといえます。しかし、皆さんは現在、地域社会・コミュニティに関わっているのでしょうか。特に都市部に居住し、居住地から離れて仕事をする方は地域社会への関与はほとんどないでしょう。一方で自然災害に対するボランティア活動をはじめ、自発的に地域の課題を解決しようとする人や、必ずしも居住地にとらわれず共通の利害や関心をもった人々がヴァーチャルな空間（ヴァーチャルコミュニティ）に関わっている人もいるかもしれません。

「自助・共助・公助」というフレーズの中で、さまざまな社会的課題の解決を地域社会やそこに住む私たちに求められる状況の中で、その是非を含めて、ふたたび地域社会／コミュニティにかかわるために考えるべき論点を多様な実践の中から紹介していきます。

第6回（1月15日）

担当講師

安達智子 早稲田大学教育・総合科学学術院 教授

テーマ

思い込みをする心

講義概要

ヒトというものは、ステレオタイプやバイアスから自由ではられない。本講義のタイトルは、そんな人間らしさそのままに「思い込みをする心」とした。今、この思い込みが注目されて、各処でさかんにアンコンシャス・バイアス研修が行われている。何故ならば、思い込みによって他者を傷つけたり、集団の生産性をそこなうことがあるからだ。一方、思い込みが個人の心や行動にもたらす負の作用についてはあまり注目されてこなかった。本講義は、ジェンダースtereotypeをはじめとして、人がなぜ紋切型の固定概念をもつのか、それらが個人の心のもちようにどのような影響を及ぼすのかを解説する。思い込みという心のカラクリについて考えることで、受講生の皆さんのキャリアに新たな視点がくわわるような時間にしたい。

第7回（3月8日）

担当講師

大月友 早稲田大学人間科学学術院 教授

テーマ

行動変容のためのマインドセット：ACTを使ったアプローチ

講義概要

自己実現に向けて行動を変えようとしてもなかなか難しいものです。なぜなら、「面倒臭い」「どうせ無理」「失敗したら恥ずかしい」など心理的なバリアが生じて、それに巻き込まれてしまうからです。人間なら誰しも起こり得ます。ただ、このような自分の中で生まれる心理的なバリアとうまく付き合い、行動変容を実現させるためのマインドセット（＝心理的柔軟性）を身につけるための心理的なトレーニングがあります。それが、アクセプタンス&コミットメント・セラピー/トレーニング（ACT）です。ACTは、心理学の一分野である行動分析学や関係フレーム理論などの学問的な基盤を有し、心理的支援として多くのエビデンスが実証されています。この講義では、このACTをベースにしたエクササイズやワークを通して、行動変容のためのマインドセットを作るきっかけを提供します。